平成２７年度　しおさいの里等複合施設　事業計画

１．法人基本理念・基本方針・行動指針

＜基本理念＞

～人と人とのつながり、地域のひろがりに貢献します～

　私たちはご利用される皆様への「自立支援」を通して、地域に暮らすすべての方々にとって生活がより豊かに感じられるようにお互いを尊重し、支え合う社会の実現に向けて実践していきます。

＜基本方針＞

〇ご利用者様一人ひとりの尊厳を守り、尊重します。
〇安心･安全をモットーに、ご利用者様の視点に立った質の高いサービスの提供に努めます。
〇地域における福祉の拠点として、その役割と任務を自覚し、推進します。

＜行動指針＞

１．私たちは、ご利用者様に対しいかなる差別・虐待・人権侵害を許さず、人間としての権利の擁護に努めます。
２．私たちは、ご利用者様が心身ともに健やかに日常生活が送れるように努めます。
３．私たちは、ご利用者様一人ひとりのプライバシーを守り、それぞれのニーズに基づく生活の支援に努めます。
４．私たちは、ご利用者様一人ひとりの「できる力や意欲」を引き出す支援に努めます。
５．私たちは、ご利用者様に対し朗らかな笑顔と暖かい気持ちで接し、信頼をいただける存在になることに努めます。
６．私たちは、専門的サービスの提供者として責任を自覚するとともに、互いを尊重し、協力しながら、心のこもったサービスの提供に努めます。
７．私たちは、自己研鑽に努めるとともに、上越頸城福祉会の一員として自信と誇りを持ってその任に努めます。

２．事業内容

・特別養護老人ホームしおさいの里（介護老人福祉施設、短期入所生活介護、介護予防短期入所生活介護）
・障害者支援施設さいはま園（生活介護、施設入所支援、短期入所）
・デイサービスセンターゆりかご荘（通所介護、新総合事業（現行の介護予防通所介護に相当するサービス、緩和した基準によるサービス））
・しおさいの里居宅介護支援事業所（居宅介護支援）
・地域包括支援センターうのはな苑（上越市委託事業、介護予防支援）
・ココカラプロジェクト「だんだん広場」（まちづくり大潟委託事業、法人独自事業）

３．中期的な事業方針（３か年計画）

現在、国では高齢者や障害者ができる限り住み慣れた地域で尊厳をもって、自分らしい生活を送ることができるよう、「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取り組み進めている。

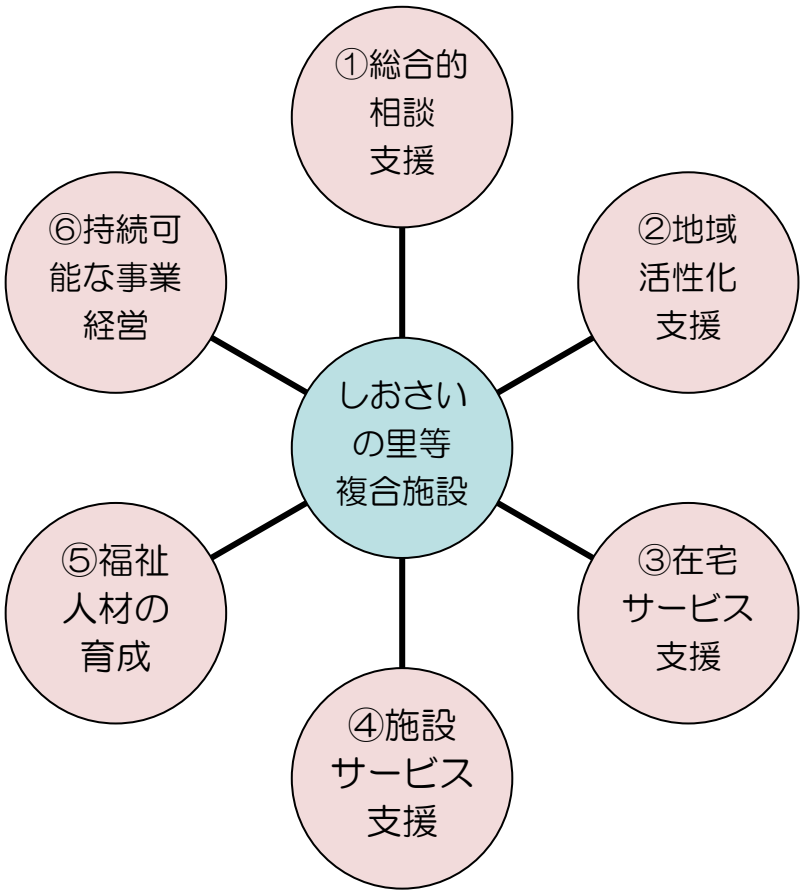
このような中、特別養護老人ホームにおいては、様々な主体が参入する介護サービス市場にあって、重度の要介護者や低所得者の「終の棲家」としての役割を一層果たしていくことが求められている。

また、障害者福祉の分野、とりわけ身体に障害がある方においては、当事者自身の高年齢化や障害の重度・重複化に対して、地域や医療と密接に連携した支援の充実が求められている。

他方、事業経営においては、介護報酬の減額改定、消費税増税、物価上昇、人材不足等による影響が懸念されており、危機管理機能を高めることがより一層、求められている。

限られた経営資源を有効に地域に還元するため、当複合施設の各事業部門が連携し、一体となって以下に掲げる３か年計画「しおさいの里　六華（りっか）プロジェクト」を推進していきたいと考える。

「しおさいの里　六華（りっか）プロジェクト　～地域に幸せの華を咲かせ隊！～」



図：「六華プロジェクト」のイメージ

六華とは、六角形の雪の結晶、雪の華。当複合施設の役割・機能を六つの華びらにみたて、「やさしさ」、そして「たくましさ」を持って、地域福祉の拠点として貢献していきたいという思いが込められている。

＜総合的相談支援（一ノ華びら）＞

地域包括支援センターや居宅介護支援事業所、障害者相談支援センター等との情報共有を図りつつ、地域住民の相談窓口機能を果たします。

＜地域活性化支援（二ノ華びら）＞

地域住民、住民組織等の多様な主体と協働しながら、地域社会の活性化に向けた取り組みを推進します。（・介護予防事業「だんだん広場」　・障害者スポーツ等の体験交流（ふくしのひろば等）　・認知症啓発活動　・地域交流行事（夏祭り等）　・社会奉仕活動　・地元保育園や小中学校等との交流事業　・ホームページや広報紙等を媒体とした情報発信）

＜在宅サービス支援（三ノ華びら）＞

介護及び障害福祉サービス事業所としての資源やノウハウを最大限活用し、地域に還元します。（デイサービスセンター、ショートステイ）

＜施設サービス支援（四ノ華びら）＞

在宅での生活が困難な方々、特に中重度の要介護者や障害のある方々への生活支援に努めます。

＜福祉人材の育成（五ノ華びら）＞

人材不足が顕著に現れている福祉分野において、組織の活性化を図りながら、互いが協力し合うとともに、やりがいのある職場づくりに努めます。（・職員研修　・目標管理　・メンタルヘルス相談体制　・組織体制の見直し　・給与改善　・障害者雇用）

＜持続可能な事業経営（六ノ華びら）＞

当複合施設の安定的、発展的な事業継続に向けての取り組みを推進します。

（・収入増加策の検討（空床管理、加算の検討等）　・効率的、効果的な業務改善による経費削減　・設備、備品の大規模修繕、更新の計画、実施　・夕映えの郷事業部との業務連携）

４．平成２７年度事業計画

４－１）複合施設事業計画

（１）事業目標：地域と共存し、積極的に地域社会に貢献します。

（２）重点目標：

①３か年計画「しおさいの里　六華プロジェクト」を効率的、効果的に推進するため、事業部門、組織を再編し、新たに「在宅支援課」を設置します。

②上越市第６期介護保険事業計画に基づき、ショートステイの特養転換について、地域のニーズに配慮しながら検討し、計画します。

③「介護予防」から「中重度の要介護者」まで、幅広いニーズに応える観点からの「支援・ケア体制の見直し」を行います。

④地域や関係機関等、外部との交流を促進することで、職員の資質向上に努めるとともに、組織及び事業のマンネリ化を打破します。

⑤計画的な空床管理ならびに各種加算要件の達成等による介護報酬の増加策を検討し実践します。併せて、業務改善によりさらなる経費削減に努めます。

⑥利用者の生活環境ならびに職員の労働環境の改善を目的に、老朽化した全館空調設備等の改修・更新を計画し、実施します。

４－２）在宅支援課　部門計画

（１）部門目標：笑顔と熱意をもって、地域と接します。

（２）重点目標：

①在宅支援課各事業部門ならびに地域の関係機関、事業所間との情報共有を重視し、適切かつ迅速に相談支援やサービスの利用につなげます。

②「地域ケア会議」や「ケアマネジャー連絡会」等、地域での会議・行事等に積極的に参加し、顔の見える関係づくりや新たなネットワークの構築に努めます。

③社会福祉啓発活動の一環として、ホームページや広報紙等を活用し、積極的に地域に情報発信を行います。

④介護予防推進チームを設置し、各課・部門と協働しながら「だんだん広場」を継続して実施します。なお、地域のニーズに応じて、クラスの増設を検討します。

⑤デイサービスセンターにおいて、介護保険制度改正（新しい総合事業）に対応したサービスを提供します。(現行の介護予防通所介護に相当するサービス、緩和した基準によるサービス（通所型サービス A)）

⑥介護報酬の増加策について、在宅部門が一体となって検討、実践します。(課内での連携体制の強化、サービス向上策の検討、PR 活動等の実践)

４－２－１）地域包括支援センター　部門計画

（１）部門目標：上越市大潟区の「地域包括ケア」の中核機関として「公益性」、「地域性」、「協働性」の基本的な視点を持って、高齢者が住み慣れた地域で尊厳あるその人らしい生活を送ることができるように「地域包括ケアシステム」の構築を目指します。

（２）重点目標：

①高齢者が安心して生活できるように、医療、保健、介護、福祉、住民組織や地域の協力機関と連携し、見守りネットワークを作るべく、取り組んでいきます。

②地域課題を把握し、地域に沿った事業を展開するために、法人の地域貢献活動や社会福祉啓発活動と協働し、推進します。

（３）業務目標：

①総合相談支援事業

ａ．地域の様々な相談に対し、関係機関と連携を図り、適切な支援を行います。

ｂ．地域住民の見守り・相談体制を強化するために、高齢者とのつながりのある銀行や商店等の関係機関へ周知活動を強化していきます。

ｃ．６５歳以上の独居高齢者及び６５歳以上の高齢者のみの世帯を個別訪問し心身の状況、家族等の状況等の実態把握を行います。
全世帯訪問を目標とします。

②権利擁護事業

ａ．地域住民に高齢者虐待や消費者被害の防止、日常生活自立支援事業、成年後見制度等の普及・啓発を行います。

ｂ．高齢者虐待の相談・通報に対し、職員間で情報を共有し、事実確認、コアメンバ

ー会議など、上越市高齢者支援課および大潟区総合事務所と連携していきます。

③包括的・継続的ケアマネジメント事業

ａ．個別地域ケア会議から関係者同士の連携体制を構築するとともに地域のニーズを把握していきます。

ｂ．地域のニーズに対応できる支援体制を構築するため地域ケア会議を３回以上開催します。

ｃ．ケアマネジャー連絡会の充実を図り、困難事例には介護支援専門員と連携しながら支援していきます。

④介護予防支援・総合事業

ａ．要支援１・２の利用者、基本チェックリスト該当者に適切なケアマネジメントを行います。

ｂ．他職種連携を図るため、ケアプラン作成時に地域連携連絡票を作成します。

⑤その他の事業

ａ．高齢者の介護予防力を高めるために介護予防推進チームの中心となって「だんだん広場」を運営します。

ｂ．認知症への理解を深めるための普及、啓発の取り組みとして認知症サポーター養成講座を開催します。また、認知症の方と介護者への支援を目的に「認知症カフェ」を開催します。

ｃ．介護技術を地域に広め、介護者の介護負担の軽減と情報交換の場として「介護者のつどい」を開催します。

４－２－２）居宅介護支援事業所　部門計画

（１）部門目標：利用者と家族の安心した生活の継続を総合的に支援し、最善の利益を追求します。

（２）重点目標：

①職員の資質の向上に継続して取り組み、利用者の自律・自立した生活を支援します。

②地域包括支援センターや関係機関と連携・協働して、利用者の最適な支援方法を検討しながら安心して暮らせる地域づくりの役割を担います。

③利用者の代弁機能を果たし、権利擁護に努めます。

④担当の受持件数を年間で 10 人、増やします。

４－２－３）デイサービスセンター　部門計画

（１）部門目標：笑顔を大切に常に感謝の気持ちを持ち、楽しく過ごしていただけるサービスの提供に努めます。

（２）重点目標：

①くつろげる雰囲気づくりに努めます。

②ご利用者様、ご家族様の要望に応じたサービスを提供します。

③選べる活動を提供し、楽しみの持てる余暇活動の充実を図ります。

④新規依頼には迅速に対応し、早期利用につなげるとともに、毎月の利用者延べ人数

650 人を目指します（毎日の利用者数 24 名以上）。

⑤在宅支援課各部門や関係機関と連携を図り、情報を共有し、在宅生活が続けられるように支援します。

４－３）高齢介護課　特別養護老人ホーム　部門計画

（１） 部門目標：

①利用者の基本的人権を尊重し、その人らしく生活できることを大切にしながら支援します。

②利用者の満足のいくサービス提供を心がけます。

③専門職として高い知識をもち個々の役割と責任を認識しながら資質向上に努めます。

（２） 重点目標：

①常に利用者の立場に立った支援を行います。

②一人ひとりの個性に合わせ安心・安全に生活できるように工夫します。

③職員間のコミュニケーションを大切にし、他職種連携の基、情報共有を図りながら支援します。

④ご家族や利用者の意向を尊重し、寄り添った支援を心がけ実施します。

⑤職員が働きやすい職場環境を作り、専門性の高い職員を目指し、研修や自己研鑽に努めます。

４－３－１）しおさいの里　２丁目　部門計画

（１） 部門目標：一人ひとりの思いを大切にし、利用者と職員が共に笑顔で生活できるように、寄り添った支援を心がけます。

（２）重点目標：

①担当職員が中心となり、利用者の思いを引き出していきます。

②自分だったらと考え、利用者の気持ちを探りながら支援していきます。

４－３－２）しおさいの里　３丁目　部門計画

（１）部門目標：

①利用者が日々安心安全に、その人らしく生活が送れるよう支援します。

②利用者職員共に笑顔で、より良いサービス提供が行えるよう、働きやすい環境を作ります。

（２） 重点目標：

①介護職員として知識・技術を常に学び、生かし、利用者個々に合わせた援助を行います。

②職員間のコミュニケーションを通し、互いに信頼関係を築き、専門職としての意識向上を目指します。

③チームで協力し合い「一人は皆の為に、皆は一人の為に支え合い、助け合い、思いやりを持つ」ということ念頭におき行動します。

④他職種との連携を密に取り、互いに相談しやすい環境を作り、利用者の日々の変化

の情報を共有し、事故防止に努めます。

⑤利用者に笑顔で寄り添い心にゆとりを持てるよう、一呼吸おき対応します。

４－３－３）しおさいの里　６丁目　部門計画

（１） 部門目標：利用者に寄り添い、笑顔あふれる満足のいく生活を送れるよう一人ひとりをしっかりと見つめ支援します。

（２）重点目標：

①利用者とのコミュニケーションを大切にし、一人ひとりのニーズを汲み取って日常生活に反映させていきます。

②利用者に対し、人権侵害になるような行為は絶対に行わず、笑顔と暖かい気持ちを持って、誠意ある対応に努めます。

③オムツゼロ運動を推進するため、座位排泄・パットの見直し。水分摂取などに力を入れていきます。

④職員間のコミュニケーションを円滑にし、利用者にとってプラスとなる効率的な業務体制を目指します。

４－３－４）しおさいの里　７丁目　部門計画

（１） 部門目標：「福祉は心」「介護は笑顔」を大切にし、一人ひとりの活動がその人らしい生活であることを大切にしながら支援します。

（２） 重点目標：

①利用者一人ひとりの生活、活動を尊重した介助を行います。

②職員間の連携を密にし、どの職員が対応しても利用者一人ひとりのニーズに合った支援を行います。

③人権侵害、不適切な行為は絶対に行わず、誠意を持って対応します。

④専門職として研修会にしっかりと参加し、自己研鑽に努めます。

４－３－５）しおさいの里　５丁目　短期入所（ショートステイ）　部門計画

（１） 部門目標：新規の方が何度も利用していただける心のこもったサービスの提供に努めます。

（２） 重点目標：

①利用者の好みを把握し、利用者やご家族の意向を汲み取り、気持ちに寄り添った対応を心がけ、安心して利用できるように努めます。

②医療度の高い利用者も含め、あらゆる利用者の方も積極的に受け入れることに努め、毎月の利用者延べ人数 430 人を目指します。（毎日の利用人数 14 人以上）

③広報「しおさい」やショートステイのチラシを地域に回覧し、地域の方に施設の情報提供を行い、ショートステイの利用につなげて行きます。

４－３－６）看護　部門計画

（１） 部門目標：利用者やご家族の意向を尊重した健康管理援助が提供できるように努めま

す。

（２）重点目標：

①ご家族や利用者の意向や気持ちを汲み取り、一人ひとりのニーズに合わせたケアが行えるようにします。

②終末期や急性期には意向に合わせた援助が速やかに行えるようにします。

a.入所時、状態変化時に、ご家族や利用者の気持ちを相談員と確認します。

b.意向内容は、医師、看護師、その他他職種と共有して統一した支援ができるようにします。

c.ご家族や利用者の気持ちは揺れ動くため、都度気持ちに寄り添って傾聴し、同じ認識を持てるようにして行きます。

４－３－７）機能訓練　部門計画

（１） 部門目標：業務の効率化や他職種との連携を図って、利用者への援助を行っていきます。

（２）重点目標：

①専門職の視点から、利用者の能力や可能性を念頭に置いた支援に努めます。

②地域貢献活動等にも業務の幅を広げていきます。

４－３－８）相談支援　部門計画

（１）部門目標：地域とのつながりを深められるように支援します。

（２）重点目標：

①利用者一人ひとりのニーズに合った楽しみのある生活を提供します。

②地域のボランティアの受け入れを検討し、ご希望の活動が行えるよう支援します。

③退所から入所までの期間は７日以内とします。

４－４）障害支援課　さいはま園　部門計画

（１）部門目標：地域で暮らす障害者を支える施設を目指します。

（２）重点目標：

①利用者の「自分でできる」という思いを大切にした自立支援と、「なりたい自分」を目指す自己実現を支援します。

②重度の障害がある方の生活の場として、施設入所を希望する声があることから、行政や相談支援事業所と連携を図り、受け入れ体制を整えます。

③地域の暮らしを支える短期入所は、円滑な受け入れ体制を整備し、利用者のニーズに応える施設を目指します。

④全国身体障害者施設協議会（新潟県身体障害者施設協議会）の一員として、障害者福祉に貢献し、介護知識や技術の向上に努めます。

⑤上越市障害者福祉計画に基づき、地域生活支援拠点整備に参画します。

⑥安定的な運営を継続することで、利用者の生活の質の確保と、職員が働きやすい職場を目指し、福祉の未来につなげます。

４－４－１）障害者支援施設（生活介護・施設入所支援）　部門計画

（１）部門目標：利用者の QOL 向上と、自己実現を支援します。

（２）重点目標：

①利用者の「選択・決定」を尊重し、「できる力」を引き出した個別支援を行います。

②従来の障害に加え、新たな疾病発症による入院が増加しているため、さらなる健康管理と体調変化の早期発見に努め、長期入院（２週間以上）を防ぎます。

③利用者の要望や苦情、相談ごとに真摯に向き合い、人権を尊重します。

④感染症防止に努めるため、マニュアルを熟知し、防止対策を遂行します。また、感染症保持者を差別することなく受け入れる体制を作ります。

⑤職員の資質向上として、施設内外の研修参加による職務活性化や、全国身体障害者施設協議会主催の全国大会実践報告でスキルアップを目指します。

⑥職員同士が相談しやすい環境で「協議・協力・協調」の働きやすい職場を作ります。

４－４－２）短期入所（ショートステイ）　部門計画

（１）部門目標：地域で暮らす利用者のニーズに応える施設を目指します

（２）重点目標：

①緊急時でも、情報の多寡や時間にとらわれず、円滑な受け入れ対応を目指します。

②障害支援区分に伴う介助を予想し、「介護職員による医療行為」体制を整備します。

③集団生活の施設でも、可能な限り在宅スタイルを反映した支援に近づくよう努めます。

④昼夜を区切らず１日を通したサービス利用となるような日中活動を実施します。

⑤レスパイト機能だけでなく、将来の施設生活に安心感が持てるよう、入所待機の場としても機能し、利用率 80%以上を目指します。

⑥地域のニーズを把握し、求められている機能を持つ「暮らしを支える施設」を目指します。

４－５）管理課　部門計画

（１）部門目標：地域における福祉施設の拠点として、「安心と安全」を実感し「発展的な事業経営」ができる施設を目指します。

（２）重点目標：

①施設をご利用される方々が、安心と安全を実感し心身ともに健やかに生活できるよう、各職種間と連携を取りながらサービスの向上に努めます。

②安定的・発展的な事業経営ができるよう、法人組織の一員としての自覚を持ち、業務の見直しや改善に努めます。

③法人組織間の連携を通して効率・効果的な経営を推進していきます。

④障害者雇用促進法に基づき、障害のある人も能力と適正に応じた働き方ができるよう努めるとともに、職員一人ひとりが生き生きと働けるよう職場の活性化に向けて、職員の健康と精神的健康の増進を図り活力ある組織づくりを推進します。

４－５－１）管理課　厨房　部門計画

（１）部門目標：「食べる喜び」を感じて頂き、おいしく安全な食事の提供に努めます。

（２）重点目標：

①ご利用者様の身体状況及び嗜好を充分考慮して、献立作成を行います。

②食材の種類、調理方法により、豊かな食事の提供に努めます。

③衛生管理を徹底し食中毒を予防します。

４－５－２）管理課　事務　部門計画

（１）部門目標：　業務改善に取り組み、効率的、円滑に業務を行うよう努めます。

（２）重点目標：

①消耗品等のコスト削減に努めます。

②情報を共有し、円滑な外部対応を行います。

③経理や労務管理において連携や効率化を図り正確・迅速に業務を行います。

④よりよい職場環境となるよう心がけ、職員間の情報の共有、協調性を大切にします。

⑤法人間で経理業務や経費削減を効率・効果的に行うよう努めます。

４－５－３）管理課　保安、宿直、清掃　部門計画

（１）部門目標：

ご利用者様が安心、安全、快適に施設を利用できるよう各職種間と連携を取りながら効率、効果的な業務に努めます。

（２）重点目標：

①作業の効率化に努め業務改善を心がけます。

②安全、安心、清潔を心がけサービス向上に努めます。